

みなさまへ

東京都道徳教育教材集
中学校版

「心みつめて」

についで

未来の東京、日本の発展を担う子供たちを育てていく上で、生命を尊重する心や他の人を思いやる心、自らを律しつつ、自分の責任を果たし、社会や公共のために尽くそうとする態度などの道徳性を育むことは、とても重要です。

学校では、「特別の教科 道徳」を要とし、全ての教育活動を通じて、子供たちの道徳性を育てています。

東京都教育委員会でも各学校での道徳教育の充実を図るため、平成 24 年度から東京都道徳教育教材集を作成しています。

学校・家庭・地域社会が連携・協力し、一体となって子供たちの豊かな心を育てていきましょう。

心みつめて

東京都道徳教育教材集
中学校版

東京都教育委員会

東京都教育委員会

さまざまな生き方に学ぶ

本教材には、自分自身のよさを伸ばしていくこと、人や社会のために力を尽くすこと、かけがえのない生命を尊重することなど、よりよく生きるためのヒントが含まれている教材を掲載しています。

多彩な教材から、生きることの喜びや素晴らしさ、人の温かさ、自然の偉大さなどを学ぶことができます。

◇ さまざまな生き方・在り方を取り上げた教材を 16 編掲載

〈主として自分自身に関すること〉

- ・ある朝のできごと
- ・個性ってなんだろう……
- ・人道・博愛の精神を白衣に捧ぐ 一萩原 タケー

〈主として人との関わりに関すること〉

- ・思いやりとは……
- ・Manners make the man.
- ・わたしの悩み

〈主として集団や社会との関わりに関すること〉

- ・ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン
- ・「働く」ということ
- ・炊きたてご飯のお弁当
- ・「一員」というプライド
- ・日本の近代建築に魂をこめて 一辰野 金吾一
- ・日本人の心の歌を求めて 一滝 廉太郎一

〈主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること〉

- ・「生まれてきてくれて、ありがとう」
一助産師からのメッセージ一
- ・焼けた空
- ・最後の楽園を守れ
- ・畏敬

〈話題にしてみませんか〉「思いやりとは……」(思いやり、感謝)

「お母さんがいつも言ってた」という理由で席を譲るっていうのは、思いやりとは言えないんじゃないかな。自分の意志で譲ったわけじゃないんだし。



でも、結果として電車に乗ってきたお年寄りは、座席に座ることができて助かったわけだね。席を譲られたお年寄りは、「ああ、この子は思いやりのある子だな」って感じたんじゃないかな。

じゃあ、「席を譲ろう」と思いながらもためらってしまって譲れなかったっていうのは、思いやりがないっていうことなのかな。



何を「思いやり」と言うかは、場面や見方によって変化するのかもしれないね。学校で、誰かから思いやりを受けたり、誰かを思いやることができたりしたと感じたのは、どんな場面かな。

